



西之表

市政の窓

第357号／平成4年6月1日発行■発行／鹿児島県西之表市役所■編集／総務課秘書広報係 ☎②-1111 FAX②-0295



西之表港めざし洲之崎沖を快走するトッピー2（5/25 午後1時撮影）

高速旅客船
トッピー2 就航
鹿児島↔種子島は1日5.5往復に

鹿児島商船㈱は、種子屋久航路に4月29日から高速旅客船ジェットfoil「トッピー2」を就航。平成元年7月21日に初就航した「トッピー」と性能は同等で、時速83km、座席数244。鹿児島・種子島を95分で結ぶ。「トッピー2」の就航で、鹿児島―種子島間はこれまでの1日3.5往復から5.5往復へと航路改善が一挙に前進した。

聞こえますか 450年前の銃声か



・93鉄砲伝来450周年 一種子島一

6月の行事予定

- 1日(月) 市民講座開講式 (午後7時～市民会館)
- 4日(木) 青少年ホーム講座開講式 (午後6時半～青少年ホーム)
- 14日(日) 市スポーツ少年団スポーツ祭 (午前9時～鴻峰小学校)
- 14日(日) 市婦人スポーツ大会 (午前9時～市民体育館)
- 19日(金) 寿大学 (午前9時～市民会館)
- 20日(土) 第1回ナイターグラウンドゴルフ大会 (午後6時～市営グラウンド)
- 28日(日) 市スポーツ少年団夏季スポーツ大会 (ソフト・バレー・剣道) (午前8時半～市営グラウンド・市民体育館他)

1992年 6月号

平成四年度 市政連絡員決まる

永年勤続表彰・納税表彰も実施

平成四年度の市政連絡員総会が四月二十八日、市民会館で開催され、十二校区、九十九部落の市政連絡員、自治公民館長に辞令と委嘱状が交付

されました。
市政連絡員は、末端行政の円滑な運営をはかるために、市の条例に基づいて設置されており、地方公務員法に規定



辞令を交付される市政連絡員の皆さん

する非常勤職員として市長が任命するものです。

その職務内容は、①公文書の配布、②願、届、報告等の取り次ぎ連絡、③各種調査、徴税、清掃検査等の立合いおよび案内、④災害情報の収集報告、⑤住民の移動に関することなど多岐にわたっており、毎日の市民生活、活動を支える重要な役割りを担っていただいています。

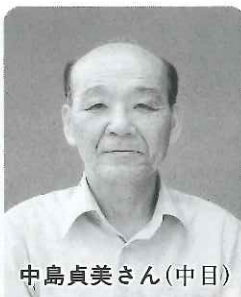
辞令交付の後、榎本市長は平成四年度、市の財政状況、事業計画を詳しく説明し、市政推進へのご協力をお願いしました。

なお、総会では、市政連絡員として永年勤続（今年度を含んで十年以上）された方々や昨年度の納税で好成績をあげた部落に対する表彰が次のとおり行われました。

市政連絡員 永年勤続表彰（三名）



宋吉三男さん(松島)



中島貞美さん(中目)



西喜義さん(中野)

納税表彰状贈呈

平成三年度の納税成績において、納期内完納並びに年度内完納を達成した二十七部落

納税感謝状贈呈

納税成績が完納に近く、部落全体で努力した成果が見られた二十部落

・白石・上古田・浜脇・伊関
・又延・近政・平山・平園
・川脇・安城上之町・安城下之町
・大野・御牧・高山・芦野
・万波・生美山・千段峯・十六番・十三番・番屋峯・平松
・能野里

納税奨励賞贈呈

組織の強化がはかられ、前年度より大幅に成績が上がり、努力した功績が認められる六部落

池田・浅川・古田中之町・深川・住吉中之町・下能野

今年川・田屋敷・岳之田・奥

校区市政連絡員

〈敬称略〉 区長会：(会長) 浜添純弥, (副会長) 和田 實, (会計) 牧山克郎

住 所	氏 名	電 話	班数	世帯数	住 所	氏 名	電 話	班数	世帯数
榕城 田屋敷	和 田 實	2-0925	306	3,745	現和 西 俣	西 田 信 助	5-0511	80	665
上西池之久保	牧 山 克 郎	3-1641	24	203	安城 大 野	森 末 晴	3-7425	25	257
下西 壺 泊	長 瀬 雄 三	2-0723	70	834	立山 植 松	徳 田 香	3-7075	15	87
国上 寺之門	長 野 勝	8-0418	60	637	中割 生姜山	森 重 種 昭	3-8443	8	63
伊関 柳 原	中 野 盛 雄	8-0657	30	263	古田 村之町	榎 本 孝 己	3-8620	32	235
安納 下 郷	日 高 敏 則	5-1056	29	251	住吉 上能野	浜 添 純 弥	3-3695	66	551

部落市政連絡員

校 区	部 落	氏 名	電 話	班数	世帯数	校 区	部 落	氏 名	電 話	班数	世帯数
榕 城 (26) 											

※又延：4・7・10・1月 長瀬 幸義, 5・8・11・2月 菊永 政利, 6・9・12・3月 柳川 信弥
班数・世帯数は、市政連絡員が届け出た文書配布用の数字です。

島朝出し、日帰り航路

トッピー2就航で実現

観光など地域産業の活性に期待



にぎわう西之表新港（左がトッピー、右がトッピー2）

四月二十九日から鹿児島商船（岩崎修三社長）のジェットフォイル「トッピー2」が就航し、種子屋久航路は複数高速船時代を迎えました。

二十九日、初便出発前に行われた西之表新港での就航祝賀式には、岩崎社長、中元平吉熊毛支庁長はじめ、一市二町の市長、町長および議員の皆さんが出席。

ミス種子島の山口ユキさんらから岩崎社長やトッピー2の福田幸也船長に花束が贈られた後、挨拶に立った榎本市長（種子島観光連絡協議会会長）は、「トッピー2の就航による島の活性・浮揚を大いに期待しています。安全運航をお願いし、今後も種子島、屋久島の発展に支援いただきたい」と歓迎。続いて、岩崎社長ら七人によるテープカットが行われ、「トッピー2」は市民らが見送る中、定刻の午前八時、新設された豪華浮桟橋を離れました。

フェリー二隻、高速船二隻の四隻体制で種子島―鹿児島間は一日五・五往復（屋久島の経由を含む）となり、島民の生活の足としての利便性が更

に高まるとともに、観光をはじめとする地域産業の振興に大きく寄与するものと期待されています。

なお、ジェットフォイル二隻の運航ダイヤは次のとおりで、一年間を四期、三種類のダイヤで運航（ドッグ入りの場合、残一隻が別ダイヤで運航します）。

夏期ダイヤ

●3月25日～9月9日

鹿児島	種子島	種子島	鹿児島
07:30	09:05	08:00	09:35
10:00	13:05	09:20	12:05
13:00	14:35	13:20	14:55
15:30	17:05	17:20	18:55
鹿児島	屋久島	屋久島	鹿児島
07:30	10:05	10:20	12:05
10:00	11:45	12:20	14:55
13:00	15:35	16:25	18:55
種子島	屋久島	屋久島	種子島
09:20	10:05	12:20	13:05
14:50	15:35	16:25	17:10

春・秋期ダイヤ

●春期 2月1日～3月24日
●秋期 9月10日～10月31日

鹿児島	種子島	種子島	鹿児島
07:30	09:05	07:30	09:05
09:20	12:05	09:20	12:05
12:30	14:05	12:20	13:55
14:20	15:55	16:20	17:55
鹿児島	屋久島	屋久島	鹿児島
07:30	10:05	10:20	12:05
09:20	11:05	11:20	13:55
12:30	15:05	15:20	17:55
種子島	屋久島	屋久島	種子島
09:20	10:05	11:20	12:05
14:20	15:05	15:20	16:05

冬期ダイヤ

●11月1日～1月31日

鹿児島	種子島	種子島	鹿児島
07:30	09:05	07:30	09:05
09:20	12:05	09:20	12:05
12:20	13:55	12:20	13:55
14:10	15:45	16:00	17:35
鹿児島	屋久島	屋久島	鹿児島
07:30	10:05	10:20	12:05
09:20	11:05	11:20	13:55
12:20	14:55	15:10	17:35
種子島	屋久島	屋久島	種子島
09:20	10:05	11:20	12:05
14:10	14:55	15:10	15:55

★は種子島乗継

片道運賃	鹿児島～種子島	鹿児島～屋久島	種子島～屋久島	往復割引運賃	鹿児島～種子島	鹿児島～屋久島	種子島～屋久島	周遊割引運賃	全区間一周
大人	5,500円	6,500円	3,000円	大人	9,900円	11,700円	5,400円	大人	13,500円
小人	2,750円	3,250円	1,500円	小人	4,950円	5,850円	2,700円	小人	6,750円

◎問い合わせ・申し込み先：鹿児島商船株式会社西之表営業所 ☎09972-2-1224

空路

大阪—種子島線

日本エアシステム

JASから

日本エアコミュニティー

JACへ継承



JAC大阪線開設を祝い関係者がテープカット

航空路、大阪—種子島線の運営業務が日本エアシステムJASから、日本エアコミュニティーJACに継承されることになり、四月一日、その初便行事が種子島空港で行われました。

JAC（小野義富社長）は第三セクターで設立された会社で、平成二年十月一日に、鹿児島—種子島線をJASから引き継いでおり、今後、種子島関係の二路線全てを運営することになります。

初便の出発を前に、JAC村尾弘行専務は「大阪直行便は昭和五十二年二月、当時の東亜国内航空（現在のJAS）が開設。以来十七年間、旅客数四十六万三千人、一万三千便を無事故で運航された。私たちJACも、この輝かしい伝統と安全運航という実績を継承し、お客様にご満足いただけるサービスを提供していきたい」と挨拶。

JAC就航を祝って関係者によるテープカットが行われたあと、初便に乗り込むお客さんを拍手で見送りました。

市長随想

第35回

種子島のパワー

市長 榎本 修



国土庁長官杯第七回全国・離島交流ゲートボール親善大会が五月十二日から十四日まで島内外百六十五チーム、役員選手約二千名の参加を得て種子島一市二町の実行委員会の対応の中で開催されました。各催しは良き天候に恵まれてこそ初めて七十パーセント以上の成功があるものと言われ、当日の天候が気がかりでありました。

十二日の歓迎式典は西之表市民体育館で行われましたが、不幸にして悪天候で、頼みの

トッピーが欠航。急遽、フェリーに変更、島外のお客様をお迎えすることとなり大変ご苦勞をかけ、お疲れの中で式典行事を進めたところでありましたが、島の郷土芸能にて疲れをいやしていたきました。

特に婦人会約二百名による鉄砲音頭での観客席での練り踊りで船酔いを吹き飛ばし、旅情を慰めていただき、「さすが種子島だと感銘した」と評価をいただき私も嬉しく、この対応に努力した各位に「さすがなり」と感謝したところであります。

また、翌十三、十四日も心配された天候も爽やかな日に恵まれ、盛大な大会として無事終了し、ほっと安堵したところであります。この天候、西之表市、南種子町は

雨、競技場の中種子町だけが雨が降らず、微妙な天の配慮に心から感謝するとともに、種子島も広いなーと感ずることへ入りました。

何と言っても、この大会を

盛り上げていただきましたゲートボール協会皆さんのご努力には頭が下がりました。島内での百三十名の審判員の確保、その一人ひとりのキビキビした態度、大会を明るく力強く推進していただきましたこのパワーに驚嘆。このエネルギーあらば島の振興は憂いなしと心強さを感じ、心から感謝したところであり

ますが、一つ残念なのは、ブラカード係りの中学生が式典行事の中でしゃがみ込む人が多く見受けられたことであります。現在の子どもたち、過保護になり、体力の減退、忍耐力の不足の故なりかと、何か不安を覚えました。五月五日、子どもの日、恒例の「住吉、星原校区なかよし相撲大会」で五人抜き大熱戦を見学し、その気魂、根性、これはたのもしい二十一世紀を託すに足る子どもたちだと感激したばかりであったのに。

婦人のパワー、壮・熟年のパワー、青少年のパワー。これらのエネルギーが結束し、島全体のパワーとなり、ゆるぎない種子島の牽引力となつて欲しいと思う。

栖林神社「大的始式」

県無形民俗文化財に指定

栖林神社大的始式保存会
(代表・松下繁さん)が伝承
している大的始式が三月二十
三日、県無形民俗文化財に指
定されました。



これまで、本市では種子島
文書(書籍)、種子島銃(工
芸)、種子島大踊り(無形文
化)、横山盆踊り(無形文化)、
めん踊り(無形文化)が県の
文化財に指定されており、今
回が六件目。

大的始式は毎年一月十一日
午後六時、栖林神社の弓場で
直径一辺七十五坪の大的を射
て、その年の悪魔災難などを
払い清め、島内の平安、無病
息災を祈願する古式豊かな行
事です。十二代島主の種子島
忠時が、明応九年(西暦一五
〇〇年)弓の指南役(指導者)
として招いた武田筑後守光長
が、翌十年、宮中の御的始式
を伝えたのがその起源です。
なお、指定の内容は次のと
おりです。

〈名称〉西之表栖林神社大的
始式保存会
〈保護団体名称〉栖林神社大
的始式保存会
〈保護団体所在地〉西之表市
西之表七五九七番地一

感じてほしい 青年の新しい息吹を!!

市連合青年団が青年祭を開催



第二十八回青年祭が三月二十九日、市民会館ホールで開催されました。

青年祭は、青年団活動の発表、市民へのアピールの場として、市連合青年団が主催して毎年実施しているものです。

大会では、まず団員二人による意見発表があり、榕城校区青年団の濱上泰子さんは「出会い、この素敵なもの」と題して、青年団、実社会での人との出会いが人生観を豊かにしてくれた喜びを語り、また国上校区青年団の高石心

平さんは「変わりつつある時代の中で今……」と題して、ゴミ問題から地球規模で進む環境破壊の問題をとりあげ、リサイクル運動など資源の有効利用を呼びかけました。
続いて、歌と踊りのステージでは、安納校区青年団が友情出演。会場から大きな拍手が送られていました。
現在、市連合青年団には榕城と国上の校区青年団が加盟。今後、魅力ある団活動を展開しながら会員を募集していく意向とのことでした。



アドリブで「青年団の今」を演劇

水産物加工処理施設が完成



竣工式のあと、水産物の加工処理の過程について説明

平成三年度種子島周辺漁業対策事業で建設が進められていた市漁業協同組合（深田忠則組合長）の水産物簡易加工処理施設が西之表旧港の製氷施設隣りに完成し、その竣工式と落成祝賀会が三月二十五日行われました。

この施設は、大漁時の魚価下落による組合員の実収入の低下を防ぐために建設されたもので、鉄筋コンクリート造平屋（三百四十・二㎡）に主な設備は、背割り機（飛魚なら1分間に四、五十尾を処理）、ミンチ機、真空包装機、原料保管庫、冷風乾燥機

など。総事業費は九千三百六十八万円。この施設の中で、特に冷風乾燥機は、キビナゴや背割りされた飛魚などを天候に左右されることなく能率よく衛生的に乾燥。高品質の製品づくりに活躍する設備として注目されています。

市漁協では、種子島近海でとれる飛魚やキビナゴなどを中心に年間約百二十三ジの原料を加工処理し、直営の「おさかなセンター」での販売や県漁連とのタイアップで県生協等への出荷も予定しており、約一億円の売り上げを見込んでいます。

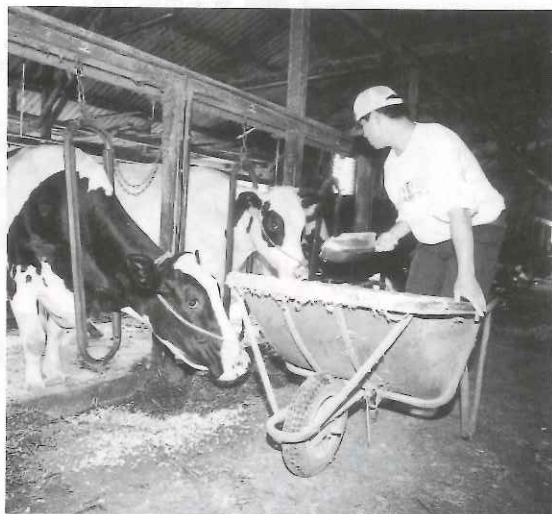
酪農経営にゆとりと休日

種子島酪農ヘルパー利用組合が発足

種子島酪農ヘルパー利用組合が三月二十七日に設立され、ヘルパー二人による代行業務が四月一日からスタートしました。県下で五番目。

酪農ヘルパー制度は、毎日の搾乳や給餌などで年中無休といわれる酪農経営の中に、休日とゆとりの時間を創り出すため三市町が助成し、また、組合加入者がそれぞれの経営規模（頭数）や施設、作業内容に応じて料金を負担して、専門のヘルパーに作業を委託するというものです。

二十七日の設立総会では、会員二十五人（西之表市十三人、中種子町八人、南種子町四人）の中から組合長に田平孝義さん（中種子町）など役員を選出。その後、会則や事業計画、予算を審議。また、酪農技術、知識を有する石元良武さん（池之久保・40歳）と田添桐仙さん（上熊野・20歳）にヘルパーを委嘱して、



▲畜主の指示に基づいて、一頭一頭、細かい管理を進めるヘルパーの田添さん

利用組合を発足しました。

田平組合長は「酪農家は皆これまで、病気やけがを心配しながら経営を続けて来ましたが、また、冠婚葬祭も自由に

ながら経営向上に努め、その利益でヘルパーを更に活用してほしい」と組合設立を祝いました。

なお、組合員二十五人の平均飼養頭数（うち搾乳牛）は46頭（24頭）。種子島酪農ヘルパー利用組合の誕生は、新しい時代の酪農へのステップとして関係者の注目を集めています。



第7回 全国 離島交流ゲートボール親善大会

165チームが出場

離島民の燃える心意気と
強い連帯のきずなを内外に示す!!



歓迎式典 (5/12市民体育館)

▼中種子町の本村チーム表和雄、ヤツさん
夫妻が選手宣誓



国土庁長官杯第七回全国・離島交流ゲートボール親善大会が種子島を会場に、五月十二日から十四日までの三日間の日程で盛大に開催されました。本大会は、全国のゲート

ボール愛好者が離島に集い、競技を通じて交流を深めながら離島のもつ特性を理解し、さらに、健康な長寿社会づくりを目指して行われるもので、今回は百六十五チーム、約千二百人が参加。

大会初日は西之表市民体育

館で歓迎式典が行われ、種子島鉄砲太鼓によるオープニングのあと、大会実行委員長の榎本市長が「鉄砲伝来の島、そして宇宙センターのある種子島でいかに実力を発揮され親睦を深めてください」と挨拶。アトラクションでは、婦人団体手踊り、古田の獅子舞などが披露され、また、大門三郎さん（地元出身歌手）の歌謡ショーで選手役員を歓迎しました。

十三日、開会式および競技会場となった中種子中央運動公園は絶好のゲートボール日和。午前八時半、中種子高校と野間中学校吹奏楽部のマーチに合わせ、遠来の宮城県仙台青葉チームを先頭に県外九十チーム、県内二十一チーム、郡内五十四チームの選手役員団が堂々の入場行進を行いました。

婦人団体手踊り▶



▼古田獅子舞い



▲深川面踊り



◀種子島火縄銃隊試射



歓迎 第7回 全国 離島交流ゲートボール親善大会

競技審判を担当した西之表市の皆さん



大会成績



- | | | |
|-----|--------------|--------|
| 優勝 | ・熊本県喜楽会 | 4戦全勝 |
| 準優勝 | ・鹿児島県金峰コシヒカリ | " |
| 第3位 | ・鹿児島県旭町 | " |
| 敢闘賞 | ・熊本県はらみづ | " |
| " | ・滋賀県稲枝A | 平均年齢最高 |
| " | ・新潟県佐渡赤泊 | 最北端 |
| " | ・東京都母島同好会 | 最南端 |
| " | ・長崎県千鳥会 | 最多出場 |
| " | ・熊本県岱光会A | " |
| " | ・鹿児島県フレンズ | 地元好成績 |



敢闘賞を受賞した西之表市フレンズチーム



国土庁長官
全国・離



土屋佳昭知事



櫻内義雄大会会長



榎本修大会実行委員長

大来洋一国土庁官房審議官、土屋佳昭知事、和気成祥全国離島振興協議会長らの来賓あいさつの後、始球式がなごやかに行われ、中種子町の表和雄、ヤッさん夫妻が力強く選手宣誓。続いて急ぎよ、空路で種子島入りした大会会長の櫻内義雄衆議院議長が挨拶に立ち、「全国の有人離島は四百三十を数え、その人口は約百五十万人。天下に有名

な歴史と科学の島、種子島での大会で、日頃の錬磨のあとをいかに発揮してください」と激励しました。ゲートボール競技は、陸上競技場と野球場に特設された二十四コートで、各コート七チームをA・Bゾーンに分けゾーンごとのリンク戦で行われ、四試合の勝率、得失点差等で競いました。

二日間にわたる競技期間中、小雨がバラつく場面もありましたが、まずまずの天候で競技は順調に進行。天然芝の緑が映えるコートで熱戦が展開しました。

成績結果は、四勝〇敗の三チームが入賞。得失点差で順位が決定され、優勝は熊本県の喜楽会チーム、準優勝は鹿児島の金峰コシヒカリチーム、三位は中種子町の旭町チーム（代表・松崎義典さん）、また、好成績を上げた西之表市のフレンズチーム（代表・森イツ子さん・小牧一）には敢闘賞が贈られました。

大会旗が次期開催地の長崎県壱岐に引き継がれ、種子島での第七回大会は無事、閉幕。

「東京まで二十八時間の船旅、そして種子島へ。島は広く、緑がきれい。皆さん優しくて、来た甲斐がありました（東京都父島クラブ）」「会場の素晴らしいさに驚きました。角巻き、よもぎのお団子、おいしかったですよ（広島県瀬戸田町B）」「公認一級、二級の有資格競技審判員百人を一つの島で編成できる種子島はすごい（県ゲートボール協会）」「菊や牛乳などの心くばり、そして火縄銃の音は一生忘れません（長崎県対馬）」。全国から集まった選手、役員が残したこれらの声は、さわやかな、ふれあい交流を目指した種子島一市二町をはじめとする主催者、関係協力者、そして島民への何物にもかえがたい贈り物でした。



閉会式のあと、菊の花束が贈られ、喜ぶ参加者



みんなの広場



歯の衛生週間
(6月4日～10日)

左から：濱元満孝くん(現和小4年)、濱元和嘉子さん(同2年)
深田恵美子さん(同2年)、大田勇志くん(同4年)

左：野元さやかさん(納曾7歳)
右：野元貴央くん(納曾5歳)

この人にSPOT

No.27

種子島の有利性を活かす農業技術を追求 内村 力さん

(鹿児島県農業試験場熊毛支場
支場長・56歳・曾於郡有明町出身)



このたびの異動で10年ぶり2度目の赴任をしました。辞令を手にした時、種子島でまた仕事が出来るといふ懐かしい気持ちとその責任の重大さを感じました。

10年前の種子島と今日を比べてみますと、まず、道路網の整備と農用地の基盤整備の進展が目を見張ります。それに種子島に限らず社会情勢の変革に伴う消費者ニーズの変化をあげることが出来ます。当時は、物を作りさえすれば売れる時代でしたが、今日はより高品質化への要求が強くなり、産地間の競争が一段と厳しさを増して来ました。種子島の有利性を活かした技術開発に努めて参ります。今まで以上のご支援をお願いします。

「みんなの広場」は皆さんからのお便りでつくる市民参加のコーナーです。市政に対するご意見、ご希望、そして身近なニュースをお寄せください。
(市政の窓② 一一一一)



左：下原菜穂子さん(榕城小4年)
右：大平結嘉さん(同4年)

交通事故発生状況

平成4年5月15日現在(対前年同月比)
※死者傷者とも発生場所での件数です

区分	発生件数	死者	傷者
西之表市	22(+1)	1(±0)	23(-1)
中種子町	16(-1)	0(-1)	19(-1)
南種子町	5(-2)	0(±0)	7(-3)
計	43(-2)	1(-1)	49(-5)

徳永津希	荒木真美	新地龍太郎	永田健太郎	奥村卓也	椎木千晴	橋元源太	米元宏佑	佐藤重紀	大河真之介	今給黎剛	前園正太郎	渡瀬雄希	出生児
則英	雄春	弘治	松寺之門	松里	能野里	池野	松野	天湊	天神	若宮	浅川	正孝	保護者
深川	朝日	松島	寺之門	松里	能野里	池野	松野	天湊	天神	若宮	浅川	正孝	住所

うぶごえ
おめでとう



人口の動き

平成4年5月1日現在(前月比)

総数……20,336人(+155)
男……9,658人(+96)
女……10,678人(+59)
世帯数……7,745世帯(+111)
市の面積……205.69km²

うぶごえ・ごめいふくは
四月中の受け分です。

中脇未哉	園田マサ	春田満	遠藤シヅ子	錨スミエ	中野ヒデ	竹之原傳吉	三枝栄	高石タケ	長瀬一	田頭リン子	氏名
84歳	57歳	64歳	83歳	66歳	78歳	86歳	77歳	79歳	85歳	66歳	年齢
西町	池之久保	西壠	壠	鴨女	柳平	野木	鞍勇	本立	壠泊	田之脇	住所

ごめいふくを
お祈りします

ふるさとを想う ②②



鹿児島県商工労働部
企業誘致対策室主幹

名越郁郎さん(51歳)

(現住所：鹿児島市星ヶ峯4丁目
29番1号)

出身地：西町

昭和34年 種子島高等学校卒業
鹿児島県東京事務所、総
務部秘書広報課等を経て
現在に至る

「夜霧の彼方に別れを告げ……」、灯の歌を口ずさみながら昭和三十七年、島を後にした。当時は橘丸で、夜十時の出港だった。我が家から港まで歩いて五分、乗船しても何かそわそわして、銅羅の鳴るのはまだか、まだかと我が家を行ったり来たりし、出港してもチラチラ輝く街の灯が見えなくなるまで、じーっとデッキの上で一人たたずんでいたのを思い出す。

◆少年の頃◆

裕小時代は裸足だった。弁当と言え「カライモ飯」。玉子が貴重で、玉子御飯も一個を二人で分け合い、黄身と白身の按分(あんぶん)がうまくいかず兄弟よく喧嘩をした。

四季を通じて、山や海で思う存分遊んだ。春の訪れを知

るのは池田沖の青ビッチョ取り、温い潮溜りの石を起こすと勢い良く跳ねて逃げる様が脳裏に焼きついている。

夏になると中目の古老が洲之崎あたりで釣った青や茶色のモハミを五、六匹、長い釣竿にぶら下げて、ぶらり、ぶらりと街を歩いている光景を良く見かけた。

甲女川(はまぐり)でのダクマ、城之浜での蛤取り、車竿で良く釣ったウマエやアマ鯛、秋の豊栄山での椎の実拾いと語る事の尽きない良き時代であった。

◆仕事を通じてのふるさと◆

県庁に勤務して、民生労働部を初め土木部、総務部、林務水産部と各部を経験した。中でも総務部の在籍が十年と長く、ふるさととの係わりが特に深かった。昭和五十三年

からの広報課時代、当時鎌田知事の「車座対話」を西之表港の岸壁と国上の保育園でゴザを敷き、知事と車座になって井元市長の進行で実施した事は忘れることのできない思い出である。新港の沖防波堤の早期実現、総合病院の設置、農産物の輸送体制など数多くの御意見、要望が出されたのを記憶している。

久しくも出戻り人事というか、土屋知事が誕生した平成元年度から、また知事広聴を担当することとなり平成二年度第一回目の知事対話を種子島で実施することができたのは感慨深いものがある。榎本市長はじめ関係者の皆さんへは大変御世話になりました。今、県政の重要施策の一つである企業誘致の立場にあ

り、またふるさととも係わりがあるようだ。県政の要望の中で企業誘致に対する要望は依然として根強い。本県は県外就職者が依然として多く、高卒者の五十六パーセントが県外就職者であり、青森県と並んでトップを占めている。親元を離れずに済むいい企業は来ないものと必死になつて誘致を進めているのが実情である。大学もほとんど県外へ行かざるを得ない現状で、今、親が一番頭が痛いのは教育費ではなからうか。

しかし、都会の生活に飽きたためか、年々Uターン希望者が多くなっているのも現実である。このためにも、アイデアを融合した新しい企業誘致戦略を模索して行かなければならないと思っている。

◆ふるさとへの夢と提言◆

昨今、村づくりや一村一品運動など地域おこしのための取り組みが盛んである。いつまでも、西郷、焼酎、桜島の3Sの宣伝では時代遅れの感があり、地域間競争に打ち勝つためには地域独自のアイデアを生かし、地域の資源をど

んどん掘り起こし、活性化を図って行くべきだと思う。こ

れでもか、これでもかと売り込んでブランド化していったものである。鉄砲伝来を縁としたポルトガルとの交流は全国に例のない素晴らしい財産であり、是非ブランド化して欲しい。市の街並みも目を見張るほどの変容であり、港や基幹道路、アクセスも見違えるほど整備されてきた。土台はもう出来ている。舞台は徐々にまわって来ている。余は、これからソフト面の充実を図ることだと思う。

おしゃれな店や看板、わかりやすい標識、目にとまるおいしいコーヒー店、あそこしか味わえない食べ物、夢とロマンを堪能させる街並み、また行って歩いて見たい潤いのある街、和・ポタリる歴史と文化の街を夢見たい。

これからも市民と一緒にネットワークを張り「よらーい(き) (寄合意気)」頑張っていきたい。

今回の「ふるさとを想う」は、東京都町田市にお住まいの永山陸男さん(五十一歳、小牧出身)にご登場いただく予定です。

若狭の墓 (雲城墓地)

郷土史家・平山武章さん

市の開発総合センターのロビーに、二科会会員の小池礼子さん(旧姓・最上)の油絵「帰って来た若狭」が展示されている。丈長の髪を肩からすらつと垂らした、椅子にかけた姿である。着物を細帯で

軽く締めた姿は風俗からも当時を偲ばせるが、画中にポルトガル国の民芸品、金属製の雄鶏がさりげなく描き込まれている。それらを思い浮かべながら、私は雲城の若狭の墓を訪ねた。

雲城の北側の砂丘の東端の高処に、寂々と小さく頭を出した二つの塚石、ここまでの

砂の坂道は、靴の中に砂が入る歩にくい道だったが、今はブロックを埋めた段々坂となっている。

墓の正面横に、海音寺潮五郎氏の歌碑が海に向っている。

あはれここ若狭の

墓か白砂のもろく

崩る、海の辺の丘

昔の墓参をしみじみと偲ばせる歌だ。

ところで、此の若狭の名前

だが、彼女が御館の納戸勤めだったというから当然その源氏名だったと思われる。鉄砲

伝来の時は十七歳だった。さて、では二つの塚石のうち、どれが若狭の石かとなると、これは定かではない。私は、

一応、どちらかが、若狭が生んだ子の墓ではないかとも考えたが、昔は幼児の死には墓は立てなかった。例えば、第二十三代島主久道の子は男子

四人(歌袈裟・巖袈裟・鉄熊・知千代)は幼亡したが、その墓も全く無しである。

さて、私は鉄砲伝来記で、鉄砲伝来という大事件のヒロイン若狭は、南蛮人ポラーリョと愛し合う仲となったとして登場させたが、その思いは今も変わっていない。

若狭の海外での生活は三カ月程度の期間だったが、此の間に、男の夢と女の夢。大航海時代に船出した男たちの一獲千金の夢、冒険、挫折、非情の海、宿命。若狭はそれらを短い生活の中で、いやでも悟らざるを得なかった。海の男を待つ孤独な妻のために、



ポラーリョも、愛する女性に出来ることは、女を親の下に届けることだった。それが、鉄砲鍛冶を連れた若狭の帰国だったと考えたい。そしてそれが二人の生別であり死別であった。

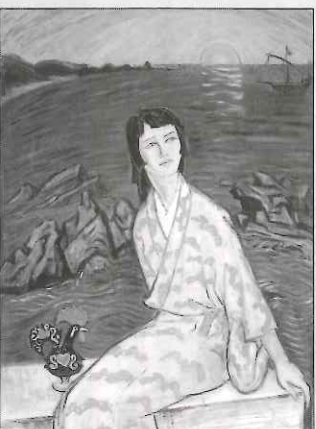
若狭は海を見舞う砂丘に音信の絶えた心の夫の墓を作った。いずれは自分も並んで葬られる事を頼み念じて。これこそ若狭純愛の比翼塚であるとさえ言えまいか。

今日は、美しい種子島語を伝承され使われる榎本アヤさん(池野)と、郷愁の島を愛してやまない牧瀬真都子さん(川迎)に同行をお願いした。語部の役をと念じ願いつつ。



▲若狭の墓全景。歌碑は海音寺潮五郎氏の筆跡で建立は熊毛文学会。背景の高い碑は若狭顕彰の忠孝碑

◀墓域は灌木林の日溜りの中、花を捧げる榎本アヤさん



▶絵画「帰って来た若狭」製作：小池礼子さん(旧姓：最上)、昭和46年8月作。

73cm×100cm

▼ポルトガルの伝統的民芸品の雄鶏



歴史・絵画・木彫 カルチャー教室受講生募集

種子島開発総合センターでは平成四年度カルチャー教室の受講生を募集します。

講座は歴史、絵画、木彫の三種類で、毎月第一・三土曜日の午後二時から四時に行われます（十回コース）。

定員は各講座十五人で、受講料は無料（但し、画材、教材費は個人負担）です。

▼対象者…一般市民

▼開設期間…平成四年六月から平成四年十一月まで

▼申込期間…平成四年六月五日～六月二十五日（住所、氏名、年齢、電話番号、希望教室名を電話でお知らせください）

▼申込先…種子島開発総合センター（☎③三二一五）

外国青少年ホームステイ 受け入れ家庭募集

鉄砲伝来四五〇周年を記念して、本市では、ポルトガルの青少年、グループのホームステイを計画しており、その

受け入れ家庭を募集します。

日本、ポルトガル友好四五〇周年記念事業を進めるポルトガル発見国家委員会と駐日ポルトガル大使館文化部は、日本、ポルトガルの交流を更に促進し、両国文化の相互理解を深める様々な計画をスタートさせています。その一つが、姉妹都市提携を進めているヴィラ・ド・ビスポ市と西之表市の両市間のホームステイを基本とした青少年またはグループの交流です。

ホームステイは、来年から実施される予定ですが、市では、ホームステイに協力いただける家庭を募集・登録し、その登録家庭を対象に今後、言語や料理等の講習会を開き、受け入れ体制の整備も進めていく予定です。

ホームステイにご協力、登録いただける方は次までご連絡ください。

▼登録受け付け期間…平成四年六月一日（月）から平成四年七月三十一日（金）まで

▼申し込み、問い合わせ先…鉄砲伝来四五〇周年記念事業推進委員会事務局（市総務課内）☎②一一一内線二〇五

土砂災害の前兆



- ・がけから小石などがパラパラ落ちている。
- ・がけに裂け目が見えた。
- ・斜面の途中から突然水がわきました。

- ・地面にひび割れが見えた。
- ・地面の一部が陥没したり、盛り上がった。
- ・池の水かさ急に変わった。
- ・井戸の水が濁った。



- ・木の裂ける音やゴロゴロと石が流れる音がする。
- ・川の水が急に濁ったり、流れに流木が混ざったりする。
- ・雨が降っているのに、川の水かさが急に減り始めた。

日頃から家のまわりの危険を確認

長雨の降る

6月は土砂災害防止月間

梅雨期を迎え、集中豪雨等による土砂災害が心配される時期になりました。

日本は国土の約八割が山地や丘陵地、台地です。土砂災害危険地域が全国に約十六万か所もあり、自然災害のうち土砂災害が六割以上を占めています。

梅雨で長雨の降る六月はこうした土砂災害の多い時期で土砂災害防止月間となっています。一般に土砂災害の発生と雨量との関係については、一時間に二〇ミリ以上、また

は、降り始めからの雨量が百ミリ以上になったら要注意といわれています。

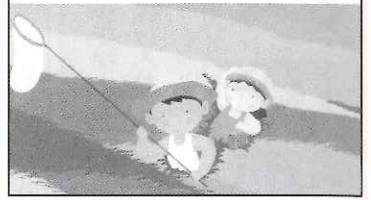
がけ地や川のそば、山がすぐ近くに迫っているところに家がある方は気象情報に耳を傾け、土砂災害に十分注意しましょう。

土砂災害のそれぞれの前兆は次のとおりです。前兆を発見したら、市の防災担当課（市総務課☎②一一一内線二〇六）に連絡するとともに、避難の準備を始めましょう。

心が伝わる1枚
「くじ付暑中見舞はがき」

かもめ〜る 6/1(月)発売

■種類：無地、ガマとカワセミ、しおさい、水色の夏■1枚41円
■最寄りの郵便局、郵便切手販売所でお買い求めください。



青少年国際交流キャンプ 参加児童生徒募集

将来の国際社会を担う青少年の育成を目的に、国際青少年研修協会では「青少年国際交流キャンプ」への参加児童生徒を次の内容で募集しています（小学生は四年生以上）。

このキャンプは、夏休み期間に、在日外国人小・中・高生と全国の日本人生徒が野外生活を共にし交流を深めるものです。参加を希望される方は直接、国際青少年研修協会にご連絡ください。

▼目的…外国人生徒と活動を共にし、言語・習慣を越えて友情を深め、国際感覚を身につけることを第一歩とします。さらに、自然に親しみ、その恵みを学び、また、団体

生活の体験を通じて、厳しい規律や仲間と助け合う楽しさ、大切さを学ぶことを目的としています。

▼キャンプ期間…平成四年七月二十九日（水）～八月二日（日）四泊五日

▼キャンプ場所…（小学生）静岡県朝霧野外活動センター、（中学生・高校生）山梨県本栖湖青少年スポーツセンター

▼参加費…（福岡発）小学生五万三千円、中学生六万五千円。

▼申し込み締め切り…七月九日（木）までに着くように、参加申込書、健康ノートを完全記載し、保険証のコピーを添えて郵送のこと。

▼申し込み、問い合わせ先…財団法人 国際青少年研修協会（〒一六〇 東京都新宿区四谷二一十一 大村ビル内）
☎〇三・三三五九・八四二一

不法無線局を一掃

六月一日は「電波の日」です。郵政省九州電気通信監理局は十日までの期間中、電波を正しく利用していただくよ

うキャンペーンを行います。

電波は、テレビ、ラジオ、防災行政無線など生活の中で幅広く利用されています。

最近、ルールを無視した不法無線局による混信、妨害が増加しています。

多くの人が、電波を公平に効率的に使用できるように不法無線局を一掃しましょう。

電波一般にかかるご照会等がありましたらご相談ください。



6/1～6/10
電波利用保護旬間

▼九州電気通信行政相談所…
☎〇九六・三二六・七八一九

殉職船員遺児援護事業

戦没殉職船員の慰霊顕彰と遺族援護を目的として、運輸大臣の許可を得て昭和五十六年四月に設立した日本殉職船員顕彰会では、商船の殉職船員遺児援護事業を行っています。

これは、職務上で死亡された商船の殉職船員遺児へ援助金を支給するものです。申請資格、支給額等については次のとおりです。

▼申請資格…殉職船員（外航船舶運航事業、旅客船運航事業または内航船舶運航事業に船員として従事中、海難その他職務上の事故により死亡した船員）の遺児で、生活に困窮していると認められる者

▼援護金の支給額…遺児が出生から高等学校を卒業するまでの通常の期間に一人一か月八千円。別に小学校に入学した場合三万円、中学校、高等学校に入学した場合それぞれ一万円の記念品を贈呈。

▼申請、照会先…財団法人 日本殉職船員顕彰会（〒一〇二 東京都千代田区麹町四一五 海事センタービル二階）
☎〇三・三三三四・〇六六二

海技免状の更新について

海技免状の有効期間は五年で、更新を受けずに有効期間が満了したときは、免状が失効し、その免状では引き続き船舶に乗り組むことができません。

くなります。

しかし、海技免状は、更新忘れ又は昭和五十八年四月二十九日以前に交付された旧免状の新免状への引き換え忘れにより免状が失効した場合でも、免許そのものは終身有効（昭和四十九年五月二十五日以前に取得又は試験に合格した旧小型船舶操縦士の免許を除きます）となっていますので、免状の再交付を受けることができます。

▼更新…海技免状は五年ごとに身体適正、知識、技能のチェックを受けて更新しましょう。更新手続き期間になりましたら、早めに運輸局等へおたずねください。免状が失効した方は、失効再交付講習を受講して再交付申請を行ってください。

▼引き換え…昭和五十五年四月一日から五十八年四月二十九日の間に取得した旧様式の四級小型船舶操縦士免状は、平成四年四月一日から平成五年三月三十一日までに新様式の免状に引き換えてください。

▼問い合わせ先…九州運輸局 船員部船舶職員課（☎〇九三・三三二・八〇九四）

4月の青果市況

種子島公設地方卸売市場

入荷量 138.3トン		島内産 52.2トン (37.7%) 島外産 86.1トン (62.3%)		
取引額 3,277万円		島内産1,534万円 (46.8%) 島外産1,743万円 (53.2%)		
種	類	入荷量トン	取引額千円	単価円/kg
島内産野菜類	根 菜 類	11.9	1,314	110
	葉 茎 菜 類	12.6	1,899	151
	果 菜 類	5.0	1,493	300
	そ の 他	15.8	3,295	208
	小 計	45.3	8,001	177
島内産実類	い ち ご	3.3	2,919	878
	び わ	1.2	494	427
	そ の 他	0.3	37	145
	小 計	4.8	3,450	729
島内産花類・鶏卵 ・加工品・その他		2.1	3,892	1,825

◎4月の特徴……島内産野菜では、竹の子、きゅうり、南瓜、なす、ピーマン、また果実ではビワの出荷が始まりました。

◎野菜、果物、花類の出荷をご希望の方は種子島公設地方卸売市場(天神町②0216)をご利用ください。

新 着 図 書

市立図書館
☎②1111 内線274

○ことばのおべんきょうシリーズ
ほうしのほうけんあいうえお
木村裕一(作)
磯みゆき(絵)

○作文優秀作品集 小学生～中学生
読売新聞社

○草の海 モンゴル奥地への旅 椎名 誠

○教科書ガイド 国語、数学他
光村教育図書他

○都道府県別 歴史博物館総覧 牧野 洋(編)

○ワンダーワールド

人びとの生活 1～13巻 堀出 一郎

○和尚さんが病気になる理由 樺島 勝徳

○人間とは 新沼 孝夫

○嫁の心 姑の気持 小野津幸子

○薩軍内通者 浜崎 健自

鉄砲館だより

種子島開発総合センター
☎③3215

※総合センター内の市民作品展示コーナーは
入場無料です。お気軽に入館、ご鑑賞くだ
さい。

※6月の展示

○写真展(種子島写友会) 5/26～6/30

○絵画展(チャールル会) 6/14～6/30

平成4年	休日在宅医		休日営業スタンド			
6月7日 (日)	池田医院 天神町②0260		三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石 堂②1219	内 門 商店 沖ヶ浜田②0291	向江商店 安 納②1147
14日 (日)	多愛病院 中 目③2401		種子島石油 鴨女町②1347	鮫島石油店 現 和②0005	有馬石油店 安 納②1103	
21日 (日)	中目医院 野 首③0350		市農協第1 川 迎②0543	中村石油店 現 和②0021	江口石油店 国 上②0808	
28日 (日)	松崎医院 西 町③2455	城西医院 中 目②0243	有馬石油店 西 町②0121	瀬下石油店 住 吉③3836	川 添 商店 現 和②0906	水口石油店 国 上②0007
7月5日 (日)	井元医院 東 町②0075		種子島石油 東 町②1345	徳永石油店 安 城③7379	一口石油店 安 納②1111	
12日 (日)	田上病院 松 畠②0960		三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石 堂②1219	内 門 商店 沖ヶ浜田②0291	向江商店 安 納②1147
19日 (日)	池田医院 天神町②0260		種子島石油 鴨女町②1347	鮫島石油店 現 和②0005	有馬石油店 安 納②1103	
26日 (日)	多愛病院 中 目③2401		市農協第3 松 畠③0128	中村石油店 現 和②0021	江口石油店 国 上②0808	



材 料

1. からいも 500g
2. 餅 3個
3. 黒砂糖 80g
4. きな粉 適当

紹介者：市食生活改善推進員

松元 愛子さん（下西上石寺）

〈作り方〉

- (1) からいも500gをきれいに洗い、皮をむいて乱切りにして水につけ、あく抜きをする。
- (2) このからいもを蒸し器に入れて蒸す。
- (3) 餅3個を小さく切り、蒸されたからいもの上に乗せて、一緒に更に蒸す。
- (4) 餅の形がくずれ、流れるように蒸されたら、当り鉢（スリバチ）にとり上げる。
- (5) 熱いうちに餅とからいもを、すり棒でつき混ぜながら、きざんだ黒砂糖を入れて、からいもの芯がなくなるようにつく。
- (6) 混ぜり合ったものを丸くまるめ、きな粉をつける。

今の時期には、子どもの日（5月5日）、旧の端午の節句（今年は6月5日）と餅をつく機会が多い。昔は、初節句を迎える家庭では、紅白の餅をついて祝い、又、結納の時にも紅白の餅をついてお祝いに添えて持っていくもので、今でも続いている所もあります。

残った餅を利用して、短時間で簡単に出来る“からいも餅”は私の十八番で、近所の方々にも好評。子どもさんのおやつに一度お試しください。



Portugal

ポルトガルへの旅

①7

ポルトガルの愛すべき人々 ⑨

(写真と文)

牧瀬正明さん—東京—



ポルト市街（大寺院は中央自壁の建物の右後方）

初期王宮の推定

ペニシェに行く前、リスボンの或るバル（立飲屋）でワインなど飲んでいて、隣り合わせた人が歴代国王名を言ってみせた事があったが、ポルトガルは一四三年スペインからの独立以来一九一〇年まで王国だった。

イスラム教徒占領に対するレコンキスタ（国土回復）にフランスからやってきたブルゴーニュの王族アンリが一〇九三年レオン・カステイリヤ王によってポルトカーレ伯に封ぜられ、その子アフォンソ・エンリケスが一一四三年初代国王に

即位して王国は始まった。独立時の領土は、ポルトを中心にモンデゴ河以北の極く狭い範囲であった。

ところで、ポルトガルという国名は、ポルトの一地域名に由来するという。スペインの古都トレドによく似た風景のあるポルトを流れるドウロ河の右岸ポルトウス（現ポルトの古い呼び方。写真の河の向こう側一帯）と左岸カレ（現ガイア地区の古い呼び方。河のこちら側）を合わせてポルトカーレという呼び方が出来、更に変化してポルトガルになったというのだ。

では、何故この地域が国名の起源となったのだろうか。いろんな資料を読んでもはつきりしないので推測してみると、アンリ・ド・ブルゴーニュがポルトカーレ伯に封ぜられたという事から想像できるように、伯爵館とそれに続く王宮がポルトカーレの地にあったからではないだろうか。

では、更に細かくその初期王宮はその中のどこに推定されるだろうか。あちこち歩いてみたが、やはり大寺院の建っている付近が最もふさわしいと思われる。その理由、(一)台地が尽きる所にしてドウロ河畔の要害の地である事。(二)初期王宮を記念してその跡に大寺院を建てた可能性があること。(三)大寺院下に千年位経過したような古い通りがある事。(四)その近くに城壁跡が残っている事。